

一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構

平成27年度事業報告書

平成27年度に当機構が実施した事業内容を報告する。

1. 人材育成事業

平成27年度の人材事業としては、①DCA3級資格認定制度の運用を行い、②DCA2級資格認定制度の整備を進め完成させた。また、③それらに必要なテキストの編集・発行を行い、④DCA3級の普及拡大のためのe-Learning開始の準備を進めた。

① DCA3級資格認定制度の運用

3級資格認定では、青山学院大学・千葉商科大学・東京工科大学・東北福祉大学・埼玉工業大学が科目認定による学習プログラムを実施した。その結果、平成28年3月現在で105名のDCA3級資格認定を発行した。

資格認定者数： 総数186名（26年度81名、27年度105名）

DCA3級資格認定者数（3月7日現在）

	平成26年度	平成27年度	計
青山学院大学	17	17	34
東京工科大学	34	25	59
千葉商科大学	30	34	64
東北福祉大学	0	29	29
埼玉工業大学	0	0	0
認定数	81	105	186

認定料： 525,000円
会費収入： 700,000円
DCA収入計 1,225,000円

② DCA2級資格認定制度の整備

2級資格認定では、DCA委員会に2級ワーキンググループを設置し、学習プログラムを研究開発を実施した。また、DCAテキストの企画開発、DCA2級共通試験の問題作成を行い、東北福祉大学にてDCA2級認定科目を実施することができた。

③ DCA共通テキストの編集・発行

「特定サーバー管理者」の実務に相応しい人材を育成するために、DCA2級・3級向けに専門知識を習得・理解できるよう、大学の授業で使用できるテキストブックの編集と作成を行った。

来年度のDCA科目実施校にて、教科書または参考書として使用される見通しである。

DCA 資格 2 級・3 級テキスト「デジタルコンテンツアセッサ入門」
近代科学社刊行（定価 2,400 円）

④ DCA 3 級の普及拡大のための e-Learning 開始の準備

FutureOne 社より、DCA 3 級用 e-Learning システムの運用を行いたいとの申し出が有り、I-ROI は共同してこれを進めてきたが、未だ完成していない。また、FO 者の内部事情に変化があり、DCA 3 級 e-Learning システムの共同開発に意欲を失ったとの情報も有り、I-ROI としてはこれを完成させるよう、もっか交渉中である。

2. 調査研究事業

平成 26 年度に引き続き「国立青少年教育振興機構」から出された「子どもゆめ基金」の「教材開発・普及活動」および「体験活動」助成金に申請を行い、2 件採択された。

- ① ネット社会を生きる力 – インターネットを使いこなす 6 つのひけつ – （教材開発）
- ② 安心安全スマホ入門 – 指導者育成コース （体験活動）

3. 会員関係

本年度の会員数は、正会員 15 社、賛助会員 6 社、行政会員 8 団体（自治体 1、学校 7 校）という構成である。平成 26 年度に引き続き、行政会員を中心として会員の勧誘を進めた。

① 行政会員

DCA 委員会の参加校より紹介を受け、関係大学の教員に対し行政会員勧誘を行った。DCA の資格認定制度には、興味を示すが参加まで至っていない。

（訪問した大学等の教育機関）

- 東海大学（情報工学）
- 東京首都大学（メディア情報）
- 東京電機大学
- 相模女子大学
- 北海道教育大学
- 帝塚山大学 経営学部

② 入退会

本年度の入退会会員は下記のとおりである。

（入会）

- 多摩美術大学 （行政会員）
- 株式会社ユーミックス （正会員）
- FutureOne 株式会社 （正会員）

（退会）

- 3 月 18 日現在 退会申し出無し

4. 啓蒙活動

DCA 資格制度の本格運用開始に伴い、各種セミナーやシンポジウム等に参加し認知度向上を図った。また、各省庁の青少年関連の担当者に対し、I-ROI での取り組みや DCA 資格制度の説明を行った。主な活動内容は下記の通りである。

① 青少年白書への掲載

内閣府で発行している「子供・若者白書」で、「第 5 節 子供・若者を取り巻く有害環境等への対応」の項に I-ROI の活動内容が掲載された。

内閣府で開催している「内閣府フォーラム（今年は 3 か所：岡山・山形・栃木）」で配布する「保護者・教職員・指導者向けハンドブック」に、当機構の活動内容を掲載し各地で配布を行った。

② 安心協 普及啓発作業部会

安心協では「もっとグッドネット」を合言葉に、青少年に向けての普及啓発を行っており、昨年 9 月よりニコニコ動画を使って普及啓発番組『グッドネットチャンネル』を放送している。この安心協の活動と連携して実施している各省庁との啓発活動に、I-ROI として協力・参加を行った（内閣府事業 6 か所・文科省事業 8 か所など）。

また、FM 東京が毎年開催している青少年向けイベント「1 万人のグッドネットチャレンジ」に I-ROI として参加し、広報活動と会場支援を行った。

③ 安心協 調査検証作業部会・ILAS 作業部会

スマートフォンの普及で顕著化した問題点を検証する作業部会に参加し、27 年度は「ネット利用の低年齢化対策について」として低年齢層（小学校 3 年以下）の子どもを持つ保護者 1,184 名に対するアンケート設問作成を支援した。これは、親同士がお喋りに熱中するあまり、子どもにスマホを渡し自由に使わせると同時に、親の子どもへの注意がおろそかになる問題等に対する意識調査を行った。幼・保の子を持つ親の、インターネットに関するリテラシーの低さと意識の不足が示された結果を得た。

④ 各省庁への連携と支援

平成 26 年度も引き続き、各省庁主催で開催されている、文部科学省が各地で実施している「ネットモラルキャラバン隊」として埼玉県深谷市主催の P T A 役員等研修会に参加するなど、普及啓発のためのフォーラムやセミナーに出来るだけ参加し、認知促進、情報交換を行っている。また、文部科学省の 3 月 8 日に開催された「情報モラルフォーラム全国大会」に参加し、展示ブースで DCA 活動の情報発信とパンフレット配布を行った。

以上